

一般社団法人 島根県クレー射撃協会

これまでのあゆみ

当協会は島根県猟友会内に併設された島根県射撃協会から始まり、昭和40年3月に島根県クレー射撃協会として独立・設立した。(島根県体育史より)

以来、昭和・平成・令和と3つの時代を多くの会員とともに協会を運営してきた。現在は令和4年4月に協会を法人化し、クレー射撃競技の普及・振興を目指し日々努力しているところである。

この間、国体では平成元年の北海道国体でトラップ団体(佐藤光國選手・矢野秋雄選手・岩田寿人選手)が8位となり初入賞。2年後の石川国体では佐藤光國選手がトラップ個人で8位入賞。その後は長らく入賞からは遠ざかったが、平成29年の愛媛国体で長岡剛選手がトラップ個人で4位、翌年の福井国体ではトラップ団体(小出伸昭選手・長岡剛選手・井上清選手)で7位に入賞した。



令和5年度島根県選手権大会 トラップ決勝

現在の状況

令和5年度の協会員数は64人でこのうち28人が上部団体の(公社)日本クレー射撃協会にも入会している。

主催大会として、4月から10月までの期間で島根公式大会を4回と月例会を毎月行っている。また国スポでの上位入賞を目指して強化練習会を毎月行っている。

銃の所持許可が原則20歳からとなり、年齢層は高いが、最近ではクレー射撃をやりたいという20歳代の方から退職後の趣味としてやりたいという60歳代の方等が新規に入会されることも多くなってきた。

これから

2030年の島根かみあり国スポに向けて前進しているところであるが、大きな問題は青森国スポから採用となる女性選手の必須化である。

現在の女性会員数は4人で、女性会員の増と競技力向上が急務となっている。

現在シミュレーターを活用した啓発活動を行っているが、今後もこういった機会を多くし、認知度を上げながらクレー射撃競技の普及発展に努めていきたいと思う。



令和5年度島根県選手権大会 スキート決勝



島根県クレー射撃協会 新ユニフォーム作成記念写真